



安心して 無線LANを 利用するために

近年、スマートフォンやタブレット端末、携帯ゲーム機などの対応機器の普及を背景に、インターネットに接続する手段として、無線LANの利用が拡大しています。総務省の調査によると、約4割の世帯で無線LANが利用されています。

みなさんの中にも、スマートフォンなどでインターネットに接続する際に、無線LANを利用する機会が増えた人がいるのではないのでしょうか。最近では公衆無線LAN（WiFi）の整備も進み、駅、空港などの公共の場でも無線LANが利用できるようになるなど、ますます便利になっていきます。

公衆無線LANは、訪日外国人が国内を旅行する上で、最も要望の高いサービスで、市でも3月末に市内4箇所（公衆無線LAN）を整備し、観光客等の利便性の向上に努めています。

しかし、便利な反面、無線LANは電波を使って情報をやりとりするため、適切な情報セキュリティ対策を取らずにいると、気がつかないうちに通

信内容が盗み見られたり、ウイルスの配布などに悪用されたりするなどの被害に巻き込まれる恐れがあります。

そのため、総務省は、利用者のみなさんが最低限取るべき情報セキュリティ対策を「3つの約束」として取りまとめています。

（約束1）無線LANを利用するときは、大事な情報はSSLでやりとりする

インターネットは、一般に通信内容を盗み見られる危険性があるものですが、無線LAN利用時には、ケーブルの代わりに電波を使っているため、その危険性が高まります。そのため、ID・パスワード等のログイン情報、クレジットカード番号やセキュリティコード、暗証番号といった決済に関する情報のほか、プライバシー性の高い情報など大事な情報を無線LANでやりとりする場合には、SSLにより暗号化されていることを確認しましょう。

（約束2）無線LANを公共の場で利用するときは、ファイル共有機能解除する

公共の場で無線LANを利用する際に、ファイルの共有機能が有効になっていると、他人からパソコンやスマートフォン内のファイルが読み取られたり、ウイルスなどの不正なファイルを送りこまれたりすることがあります。ファイル共有機能の利

用は、家庭内や職場のLANに接続したときに限るようにして、公共の場での無線LAN接続時には解除しましょう。

（約束3）自分でアクセスポイントを設置する場合には、適切な暗号化方式を設定する

自分で設置したアクセスポイント（親機）でも、電波の届くところから気がつかないうちに通信内容が盗み見られたり、ウイルスの配布等に悪用されたりする危険性があります。そのため、家庭の無線LANの親機やモバイルWiFiルーター、スマートフォン用のテザリング機能を設定する場合には、WPAやWPA2により暗号化しましょう。その際、アクセスポイントと端末との間に設定する共通のパスワードは、ランダムで長いものにしましょう。

インターネットを快適に使用するためにも、無線LANの情報セキュリティに関する理解を深めるとともに、日常における生活と同様に、ルールとマナーを守り、常に人権を尊重する気持ちを大切にインターネットを楽しむ利用していきましょう。

無線LANとは？

会社内や家庭内などでパソコンやプリンタなどを電波を使ってデータをやりとりできるようにしたネットワークSSLとは？

インターネット上でデータを暗号

化して送受信する仕組みのひとつWPAとは？
セキュリティ強度を向上させた無線LANの暗号化方式の規格

消費者月間講演会

5月は消費者月間です。今年はいよいよ健康的な生活を送るため、簡単に家でもできる健康体操についての講演と実践を行います。講演終了後、「消費生活ミニ講座」も開催します。

日時 5月26日（木）13時30分～
場所 勤労青少年ホーム3階
入場料 無料
※動きやすい服装でご参加ください。

問い合わせ 産業振興課調整係
☎ 22-7745

休日納税相談窓口のご案内

何らかの事情で納税が難しい場合は相談を受け付けますので、ご利用ください。

日時 5月15日（日）9時～17時

夜間窓口も利用できます

事前に連絡をしていただければ、納税に関する相談を受け付けますので、ご利用ください。

利用時間 平日の20時まで（要相談）

場所 税務課（本庁1階）

問い合わせ 税務課収納係 ☎ 22-7732